

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	基礎メイク		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 月曜3限	教室名	3校舎メイク室
担 当 教 員	藤井 由美子	実務経験と その関連資格	マンツーマンでのメイクレッスンのアドバイザー			
《授業科目における学習内容》						
メイクアップに関心を持ち楽しいと思えるメイクアップ技術の習得することができる						
《成績評価の方法と基準》						
実技・筆記テスト・授業にとりく姿勢						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料等						
《授業外における学習方法》						
日常生活におけるメイクアップと身だしなみの確認						
《履修に当たっての留意点》						
メイクアップに関心を持ち楽しいと思えるメイクアップテクニックを見つけてください						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	授業内容概要を理解することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	メイクの心理効果 基礎理論			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自分の顔の特徴を知ることができる	配布資料等	鏡を見て自分の顔を研究	
		各コマに おける 授業予定	自分の顔を知り標準プロポーションと比較と顔分析			
第3回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	肌作りのポイントとスキンケア基本を身に付けることができる	配布資料等	手ぬぎをしないようにスキンケアを心みましよう	
		各コマに おける 授業予定	スキンケアの心理性クレンジング・洗顔・化粧水・乳液の塗布のしかた			
第4回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	メイクの基礎知識を身に付けることができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	色や形や質感の選び方			
第5回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	基本のメイクアップ手法を身に付けることができる	各自タオル メイク道具	ベースやファンデーションをつける習慣をつけましよう	
		各コマに おける 授業予定	ベースメイクに必要なアイテム 化粧下地とコントロールカラーとファンデーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイク技術の習得<アイブロ編>することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	標準の眉のバランスと眉の描き方の習得		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイク技術の習得<アイメイク編>することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	アイシャドウの塗り方とグラデーション		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイク技術の習得<アイライン・マスカラ編>することができる。	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	アイライナー・マスカラの効果と使い方の習得		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイク技術の習得<リップ・チーク・ハイライト編>することができる。	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	リップ・チーク・ハイライトの色選びテクニックの習得		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	形と質感について理解することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	形のイメージと錯覚と質感の習得		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップデザインを理解することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	スペースとバランスの調整法		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	顔分析とイメージ演出をすることができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	キュート～大人っぽいメイク習得		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレマツサージを習得することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	メイク前にリンパの流れを意識したマツサージの習得		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	オールメイクトレーニングについて理解することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	Q&A		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	総復習によって技術を身に付けることができる	各自タオル スキンケア メイク道具	
		各コマにおける授業予定	総復習		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	基礎メイク		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 月曜3限	教室名	3校舎メイク室
担 当 教 員	藤井 由美子	実務経験と その関連資格	マンツーマンでのメイクレッスンのアドバイザー			
《授業科目における学習内容》						
メイクアップに関心を持ち楽しいと思えるメイクアップ技術の習得することができる						
《成績評価の方法と基準》						
実技・筆記テスト・授業にとりく姿勢						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料等						
《授業外における学習方法》						
日常生活におけるメイクアップと身だしなみの確認						
《履修に当たっての留意点》						
メイクアップに関心を持ち楽しいと思えるメイクアップテクニックを見つけてください						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	オリエンテーション	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	店頭での接客について			
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	標準プロポーションとの比較をすることでメイクのポイントが理解 できる	配布資料等	鏡を見て自分の顔を研 究	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで相手の顔を観察し、標準プロポーションに近づける 実技			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	対人スキンケアの実施により手技ができる①	配布資料等	手ぬきをしないようにス キンケアを心みましょ	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いに対してスキンケアを実施する			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	対人スキンケアの実施により手技ができる②	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持 つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いに対してスキンケアを実施する			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	基本メイクアップについての対人手技ができる①	各自タオル メイク道具	ベースやファンデーショ ンをつける習慣をつけま しょう	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いに対して基本メイクアップを実施する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	基本メイクアップについての対人手技ができる②	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いに対して基本メイクアップを実施する		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイクについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにポイントメイクを実施する		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイクについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにポイントメイクを実施する		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アイシャドウの塗り方とグラデーションについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにアイシャドウを実施する		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アイシャドウの塗り方とグラデーションについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにアイシャドウを実施する		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アイライン・マスカラについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにアイライン・マスカラについて実施する		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アイライン・マスカラについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにアイライン・マスカラについて実施する		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	リップ・チーク・ハイライトについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにリップ・チーク・ハイライトについて実施する		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	リップ・チーク・ハイライトについての対人手技ができる	各自タオル スキンケア メイク道具	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクで互いにリップ・チーク・ハイライトについて実施する		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	質感について理解することができる	各自タオル スキンケア メイク道具	
		各コマにおける授業予定	メイクドールを使い、様々な印象を作る		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	基礎メイク		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 月曜3限	教室名	3校舎メイク室
担 当 教 員	藤井 由美子	実務経験と その関連資格	マンツーマンでのメイクレッスンのアドバイザー			
《授業科目における学習内容》						
メイクアップに関心を持ち楽しいと思えるメイクアップ技術の習得することができる						
《成績評価の方法と基準》						
実技・筆記テスト・授業にとりく姿勢						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料等						
《授業外における学習方法》						
日常生活におけるメイクアップと身だしなみの確認						
《履修に当たっての留意点》						
メイクアップに関心を持ち楽しいと思えるメイクアップテクニックを見つけてください						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	質感について理解することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	メイクドールを使い、様々な印象を作る			
第 32 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	メイクアップデザインを実践することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いにメイクアップデザインを実施する			
第 33 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	メイクアップデザインを実践することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いにメイクアップデザインを実施する			
第 34 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	顔分析とイメージ演出を実践することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いに顔分析を行いイメージ演出を行う			
第 35 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	顔分析とイメージ演出を実践することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください	
		各コマに おける 授業予定	相メイクで互いに顔分析を行いイメージ演出を行う			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレマッサージを実践することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイク相手の顔に対してプレマッサージを行う		
第37回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレマッサージを実践することができる	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイク相手の顔に対してプレマッサージを行う		
第38回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	今まで学んだ内容に使う相メイクの相手に対しての実技を行う		
第39回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		
第40回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		
第41回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		
第42回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		
第43回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		
第44回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		
第45回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行うことにより、対人メイク力をつけることがある	配布資料等	メイクについて興味を持つ意識をしてください
		各コマにおける授業予定	相メイクの相手を入れ替え、今まで学んだ技術を駆使してフルメイクを行う		